

第 59 回大東市民体育大会総合開会式・まとめ

総括

競技参加者、特に今回は観覧者が増加し、過去に例のない参加者数であった。武道関係以外の競技種目として卓球連盟による模範演技を始め、チアリーディングの披露など新たな取り組みもあり、例年になく盛り上がりが見られたのではないかと考える。

- 参加者数 総数：689 名（内訳⇒観客：85 名、連盟関係：564 名、来賓：20 名、主催者など関係者：20 名） 【参考：554 名(昨年度)】

1 準備

- ・ 連盟旗と優勝杯の管理および準備は、各連盟が行っているが、今回、優勝杯が持参されず急遽、間に合わせで代用した。出来るだけ事務局内の保管棚に据え置くことが望ましい。

2 当日

- ・ 国旗、市旗・体協旗の掲揚順位の指摘があったが、調査の結果、現行通り（左から「市旗・国旗・体協旗」とする（←スポ振）。
- ・ 産業大学東部キャンパス駐車場が有料になったため、四条中学校グラウンドを使用した。体育館入口前であり、誘導は円滑であった。終了後の放送で、正午には施錠するとの周知が必要である。【駐車台数：73 台】
- ・ 自転車駐輪場の担当の配備、場所の確保は的確であった。また、駐車場の制限もあり自転車での来場が多かったのではないか。来賓駐車場は、もう少し範囲を狭くしてもいいのではないか、他の来客者の駐車場の確保も必要である。
- ・ 退場時、一斉になるため特に駐輪場の整理、誘導が必要である。警備員を配置することで、円滑にできるのではないか。
- ・ レプリカ授与が混雑しており、代表のみという選択も有り得るのではないか。
→机の追加、文字の拡大
- ・ 模範演技は好評であったが、関心が集中するのは 10 分前後ではないか。来年度はどのような競技が適切か（←スポ振）。

3 事後

- ・ 各連盟参加者の事務局への報告が徹底されていない。
- ・ 終了後のメダル、賞状の受け取りを徹底すること。